

NSK

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

日本精工株式会社
2015年11月2日



本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しております。従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

- 1. 2016年3月期前半(4～9月)実績**
- 2. 2016年3月期通期予想**
- 3. 第4次中期経営計画 数値見通し**
- 4. 第5次中期経営計画 方針**
(補足資料)

1. 2016年3月期前半(4~9月)実績

事業環境

- ✓ 産業機械事業 : セクター毎にばらつきあるも、鈍化傾向が顕在化
中国経済の一段の減速懸念
- ✓ 自動車事業 : 中国市場で生産調整あるも、引続き北米好調
日系カーメーカーの海外生産は対前年同期でプラス
- ✓ 対USDドル、対中国元の為替レートは前年同期比で円安継続

決算サマリー

売上高	4,897億円	(対前年同期)	+253億円 / +5.5%
営業利益	494億円	"	+87億円 / +21.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	335億円	"	+76億円 / +29.2%

- ✓ 対前年上期実績 増収増益、売上高、各利益 上期過去最高
- ✓ 事業セグメント別業績
 - ・ 産業機械 : 工作機械、風力等の伸びと、為替円安により対前年増収増益
 - ・ 自動車 : 中国調整を他地域でカバー、上期過去最高

2016年3月期 前半(4~9月)業績サマリー



(億円)	15/3期前半 ＜実績＞	16/3期前半 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	16/3期前半 ＜5月予想＞
売上高	4,644	4,897	+253	+5.5%	4,900
営業利益 ＜営業利益率＞	407 ＜8.8%＞	494 ＜10.1%＞	+87	+21.3%	470 ＜9.6%＞
経常利益	409	490	+81	+19.8%	460
税引前利益	379	490	+111	+29.3%	460
親会社株主に帰属する 当期純利益	259	335	+76	+29.2%	310
(換算レート1US\$=)	(¥103.04)	(¥121.80)			(¥115)
(" 1EURO=)	(¥138.92)	(¥135.07)			(¥125)

【主要指標】

ROE	13.8%	14.5%		
Net D/E レシオ	0.40倍	0.26倍		
棚卸回転数	6.7回転	6.9回転		

売上高・営業利益 [事業セグメント別]



(億円)	15/3期前半 ＜実績＞	16/3期前半 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	16/3期前半 ＜5月予想＞
売上高	4,644	4,897	+253	+5.5%	4,900
産業機械事業	1,325	1,366	+40	+3.0%	1,425
産業機械軸受	1,117	1,142	+25	+2.3%	1,195
精機製品	209	224	+15	+7.2%	230
自動車事業	3,118	3,390	+272	+8.7%	3,350
自動車軸受	1,463	1,551	+88	+6.0%	1,530
自動車部品	1,655	1,839	+184	+11.1%	1,820
その他	348	271	-77	-22.2%	270
消去	-147	-129	+18	-	-145
営業利益	407 <8.8%>	494 <10.1%>	+87	+21.3%	470
産業機械事業	145 <10.9%>	175 <12.8%>	+30	+20.8%	180
自動車事業	282 <9.1%>	345 <10.2%>	+63	+22.4%	320
その他	22 <6.2%>	20 <7.4%>	-2	-7.5%	20
全社費用	-41	-46	-5	-	-50

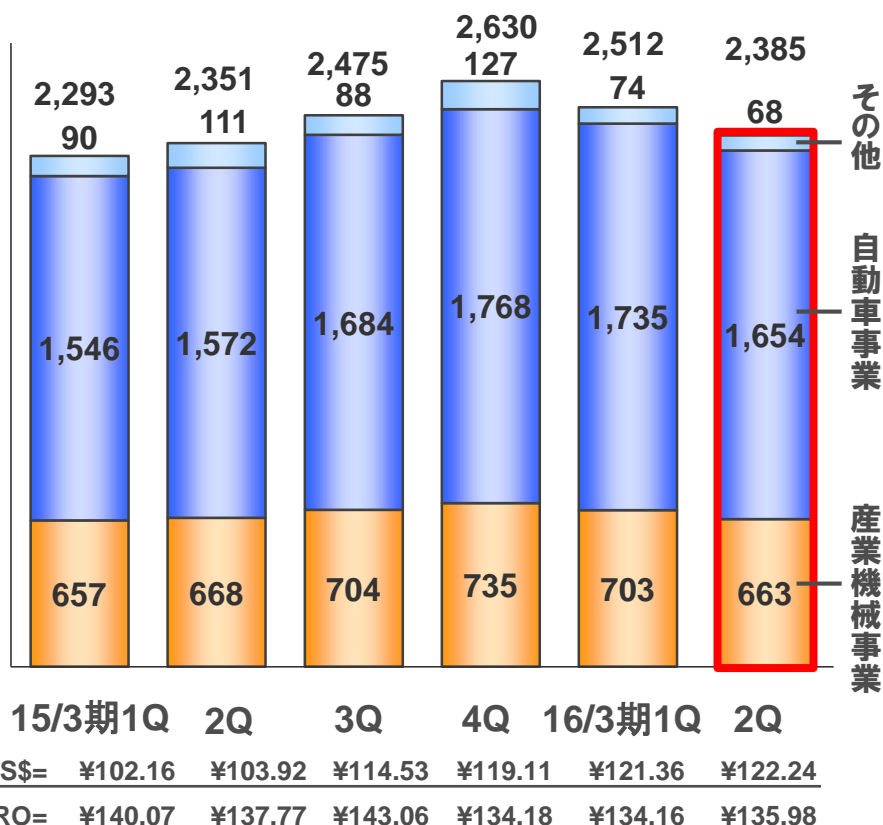
※「その他」に含まれておりましたシステム関連製品は、事業譲渡により16/3期より除外しております。

売上高・営業利益 四半期推移

売上高 (YoY)

堅調な北米生産により自動車向け増収
為替円安により前年同四半期比でプラス

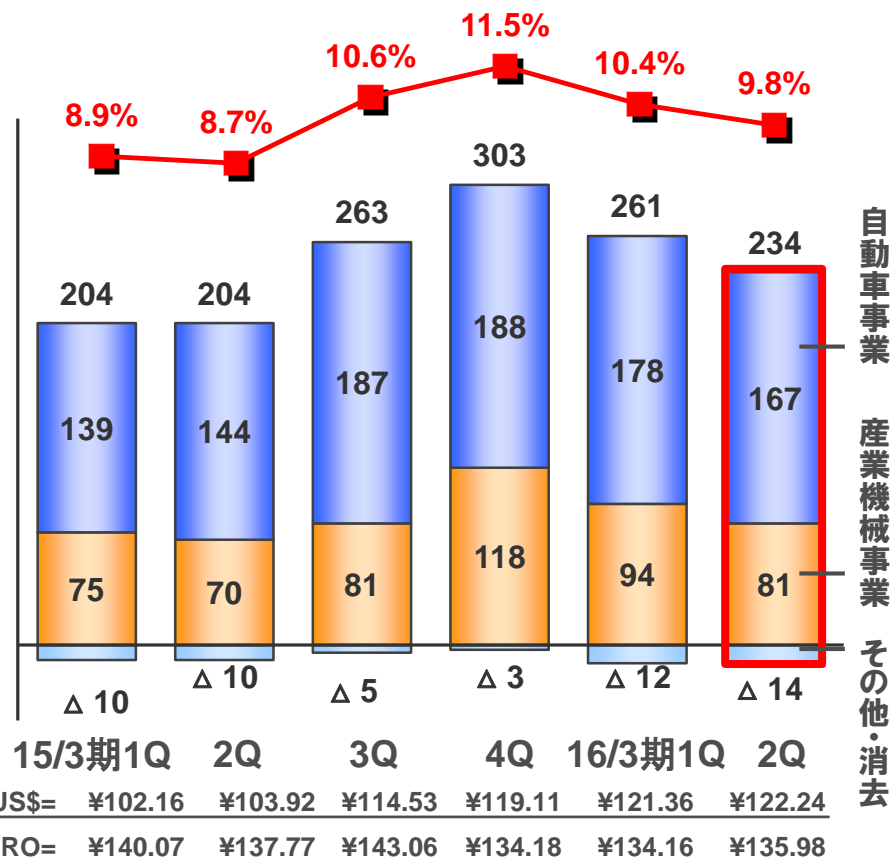
(億円)



営業利益/営業利益率 (YoY)

2Q営業利益は対前年大幅増も1Q比マイナス
営業利益率は9.8%と高い水準を維持

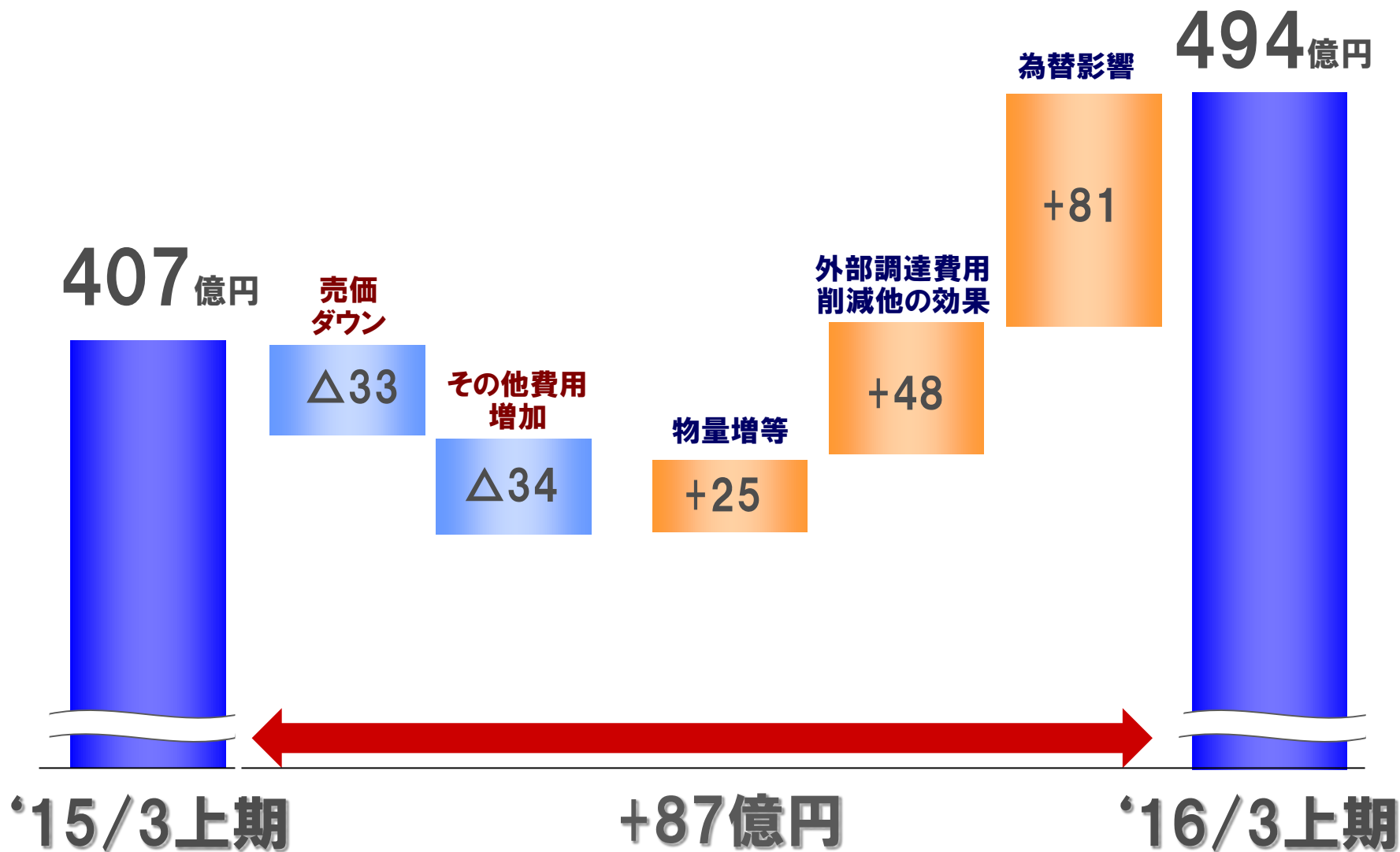
(億円)



営業利益 増減内訳（'15/3上期⇒'16/3上期）

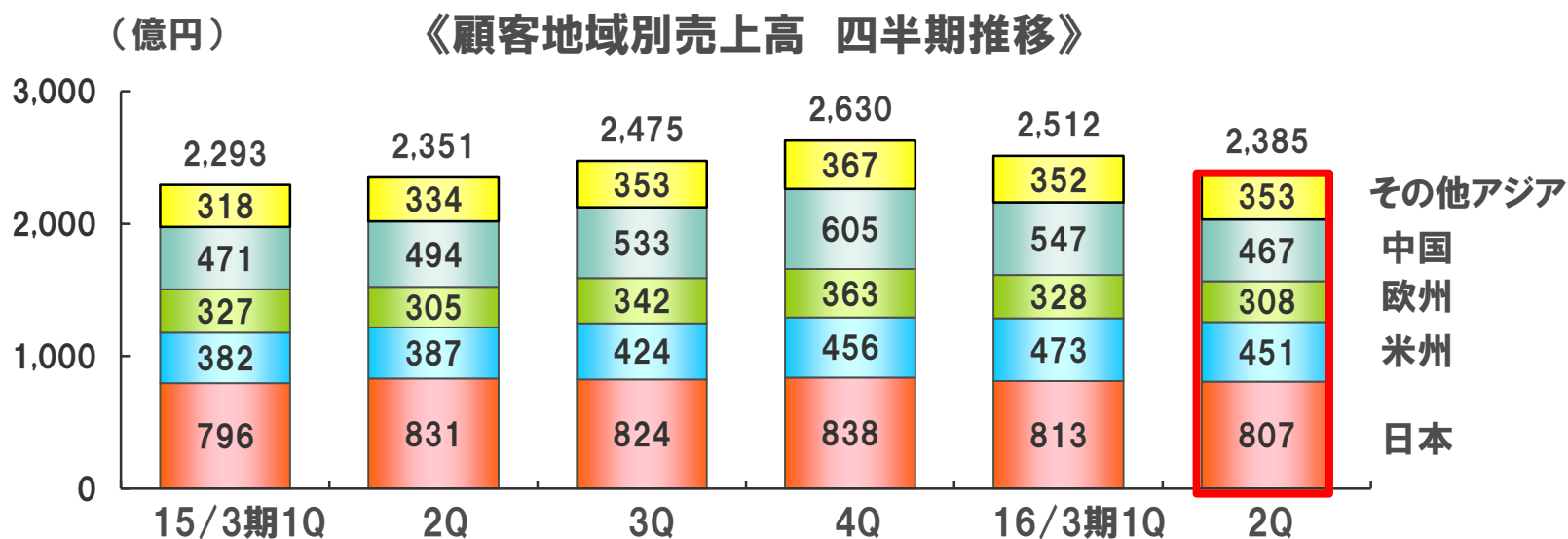


（億円）



売上高 [顧客地域別]

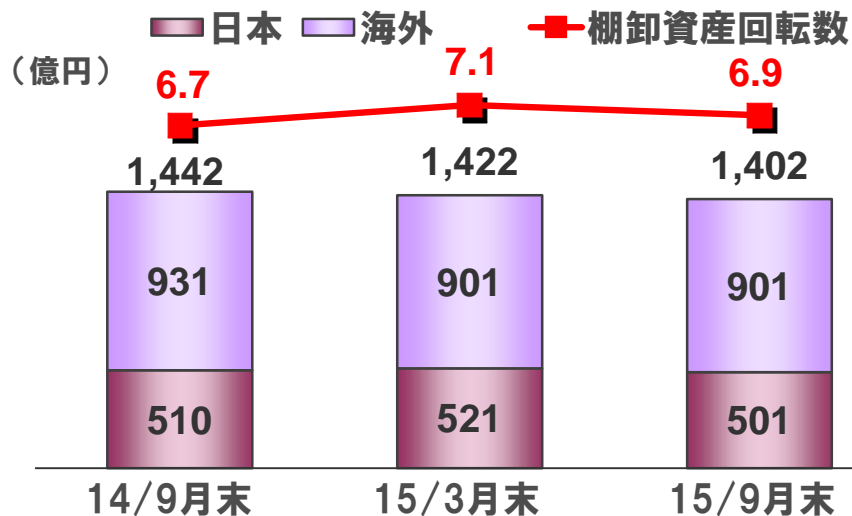
(億円)	15/3期前半 ＜実績＞	16/3期前半 ＜実績＞	対前年増減額	対前年伸び率
売上高	4,644	4,897	+253	+5.5%
日本	1,626	1,620	-7	-0.4%
海外合計 (海外比率)	3,017 (65.0%)	3,278 (66.9%)	+260	+8.6%
米州	768	923	+155	+20.2%
欧州	633	636	+3	+0.5%
中国	965	1,014	+49	+5.1%
その他アジア	652	705	+53	+8.2%



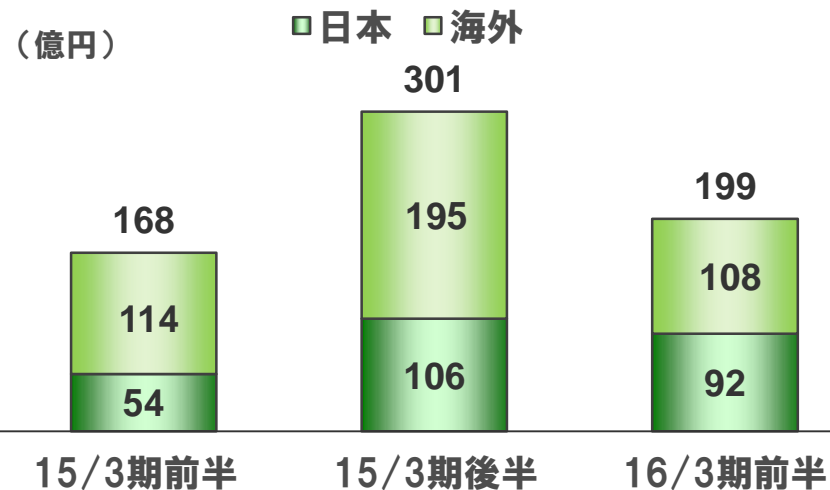
棚卸資産/有利子負債、設備投資/減価償却費



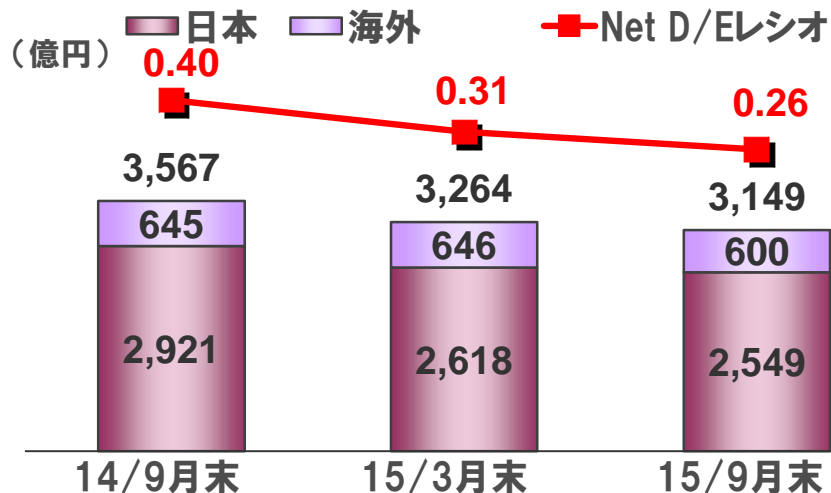
棚卸資産



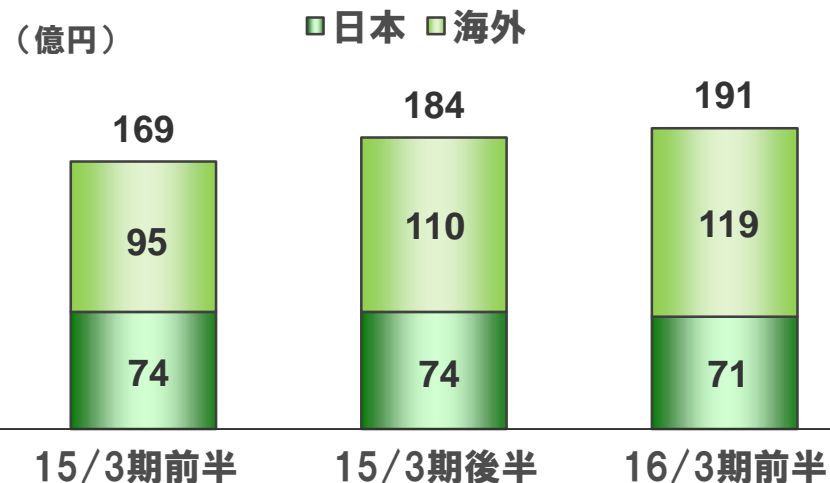
設備投資



有利子負債



減価償却費



2. 2016年3月期通期予想

事業環境見通し

- ✓ 需要調整局面に移行
- ✓ 日本の回復シナリオもたつき、中国減速の世界経済への波及懸念
米国の利上げ時期注視、欧州回復基調も地政学リスクあり
- ✓ 産業機械事業：中国経済の下振れがグローバル規模で影響
風車、車両以外のセクター需要は減少
- ✓ 自動車事業：中国の急減速あるものの、北米好調は続く見通し
独カーメーカー不正問題の影響 要注視

通期業績予想

- ✓ 5月予想を下方修正

売上高	9,800億円	(対前年)	+51億円 / +0.5%
営業利益	940億円	”	△33億円 / △3.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	660億円	”	+40億円 / +6.5%
- ✓ 後半為替前提：US\$=115円、EURO=125円 年間配当34円

2016年3月期 通期予想



(億円)	15/3期		16/3期				
	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <5月予想>
売上高	9,749	4,897	4,903	9,800	+51	+0.5%	10,200
営業利益 <営業利益率>	973 <10.0%>	494 <10.1%>	446 <9.1%>	940 <9.6%>	-33	-3.4%	1,020 <10.0%>
経常利益	910	490	430	920	+10	+1.1%	1,000
税引前利益	880	490	430	920	+40	+4.5%	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	620	335	325	660	+40	+6.5%	700
(換算レート1US\$=)	(¥ 109.93)	(¥ 121.80)	(¥ 115.00)	(¥ 118.40)			(¥ 115)
(" 1EURO=)	(¥ 138.77)	(¥ 135.07)	(¥ 125.00)	(¥ 130.04)			(¥ 125)

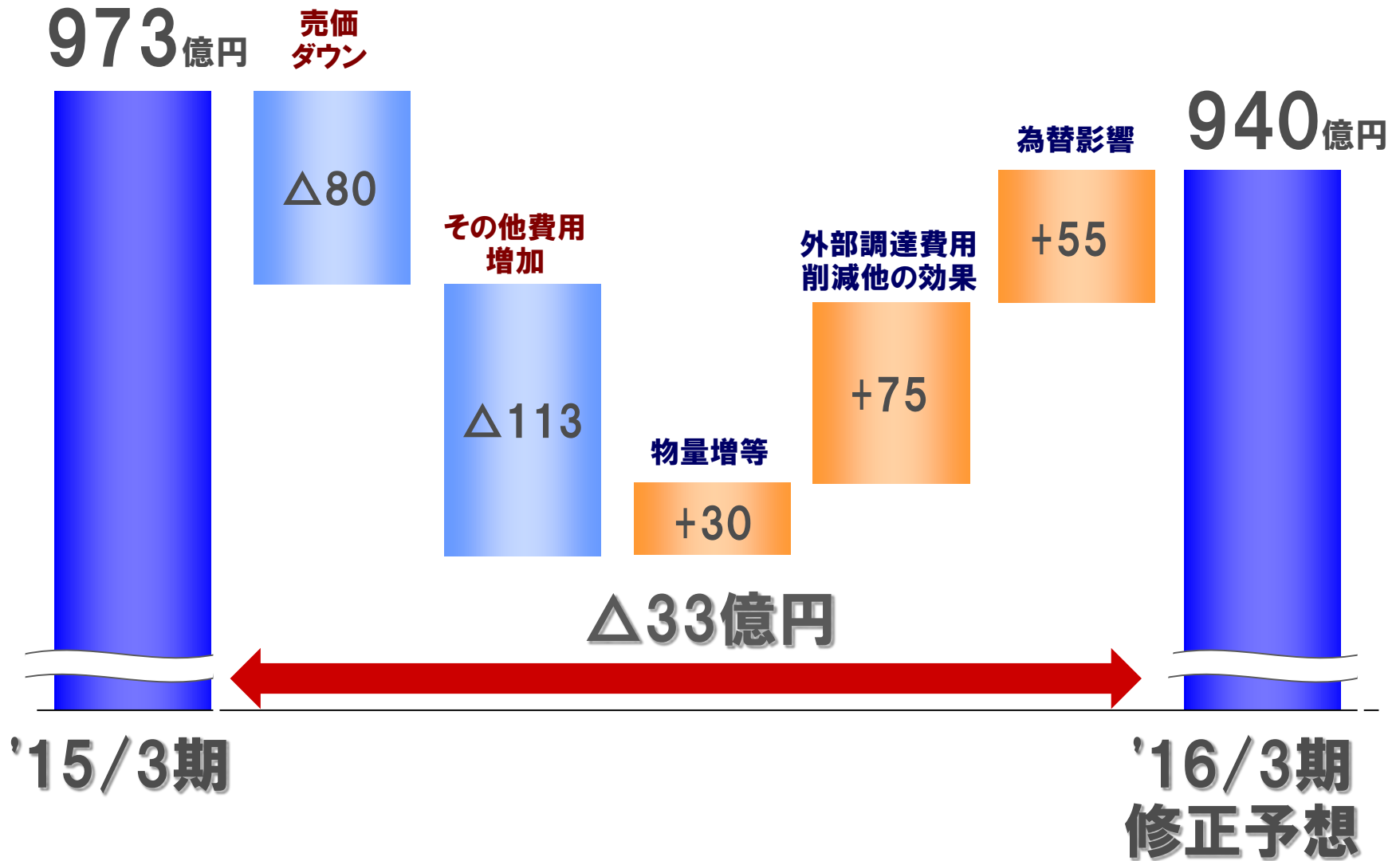
2016年3月期 通期予想 [事業セグメント別]



(億円)	15/3期 通期 <実績>	16/3期		16/3期 通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <5月予想>
		前半 <実績>	後半 <修正予想>				
売上高	9,749	4,897	4,903	9,800	+51	+0.5%	10,200
産業機械事業	2,764	1,366	1,294	2,660	-104	-3.8%	2,920
産業機械軸受	2,324	1,142	1,098	2,240	-84	-3.6%	2,450
精機製品	440	224	196	420	-20	-4.5%	470
自動車事業	6,570	3,390	3,490	6,880	+310	+4.7%	7,010
自動車軸受	3,064	1,551	1,579	3,130	+71	+2.3%	3,185
自動車部品	3,506	1,839	1,911	3,750	+239	+6.8%	3,825
その他	729	271	269	540	-189	-25.9%	540
消去	-314	-129	-151	-280	+34	--	-270
営業利益	973 <10.0%>	494 <10.1%>	446 <9.1%>	940 <9.6%>	-33	-3.4%	1,020 <10.0%>
産業機械事業	344 <12.4%>	175 <12.8%>	135 <10.4%>	310 <11.7%>	-34	-9.9%	380 <13.0%>
自動車事業	657 <10.0%>	345 <10.2%>	335 <9.6%>	680 <9.9%>	+23	+3.5%	700 <10.0%>
その他	58 <7.9%>	20 <7.4%>	20 <7.4%>	40 <7.4%>	-18	-31.0%	35 <6.5%>
全社費用	-85	-46	-44	-90	-5	-	-95

営業利益 増減内訳 ('15/3期⇒'16/3期修正予想)

(億円)



2016年3月期予想 [顧客地域別売上高]



(億円)	15/3期		16/3期				
	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率	通期 <5月予想>
売上高	9,749	4,897	4,903	9,800	+51	+0.5%	10,200
日本	3,288	1,620	1,605	3,225	-63	-1.9%	3,335
海外合計 (海外比率)	6,460 (66.3%)	3,278 (66.9%)	3,297 (67.2%)	6,575 (67.1%)	+115	+1.8%	6,865 (67.3%)
米州	1,648	923	937	1,860	+212	+12.9%	1,775
欧州	1,338	636	619	1,255	-83	-6.2%	1,280
中国	2,102	1,014	1,056	2,070	-32	-1.5%	2,325
その他アジア	1,372	705	685	1,390	+18	+1.3%	1,485

3. 第4次中期経営計画 数値見通し

1兆円を支える企業基盤の確立

事業戦略

収益重視の成長

新興国での成長

顧客戦略・セクター戦略強化

生産力・技術開発力

戦略的提携

産業機械事業

自動車事業

経営基盤

1兆円の物量を回す管理能力構築

ガバナンス充実・コンプライアンス強化

事業構造改革

グローバルマネジメントの進化

生産・販売・管理
新システム

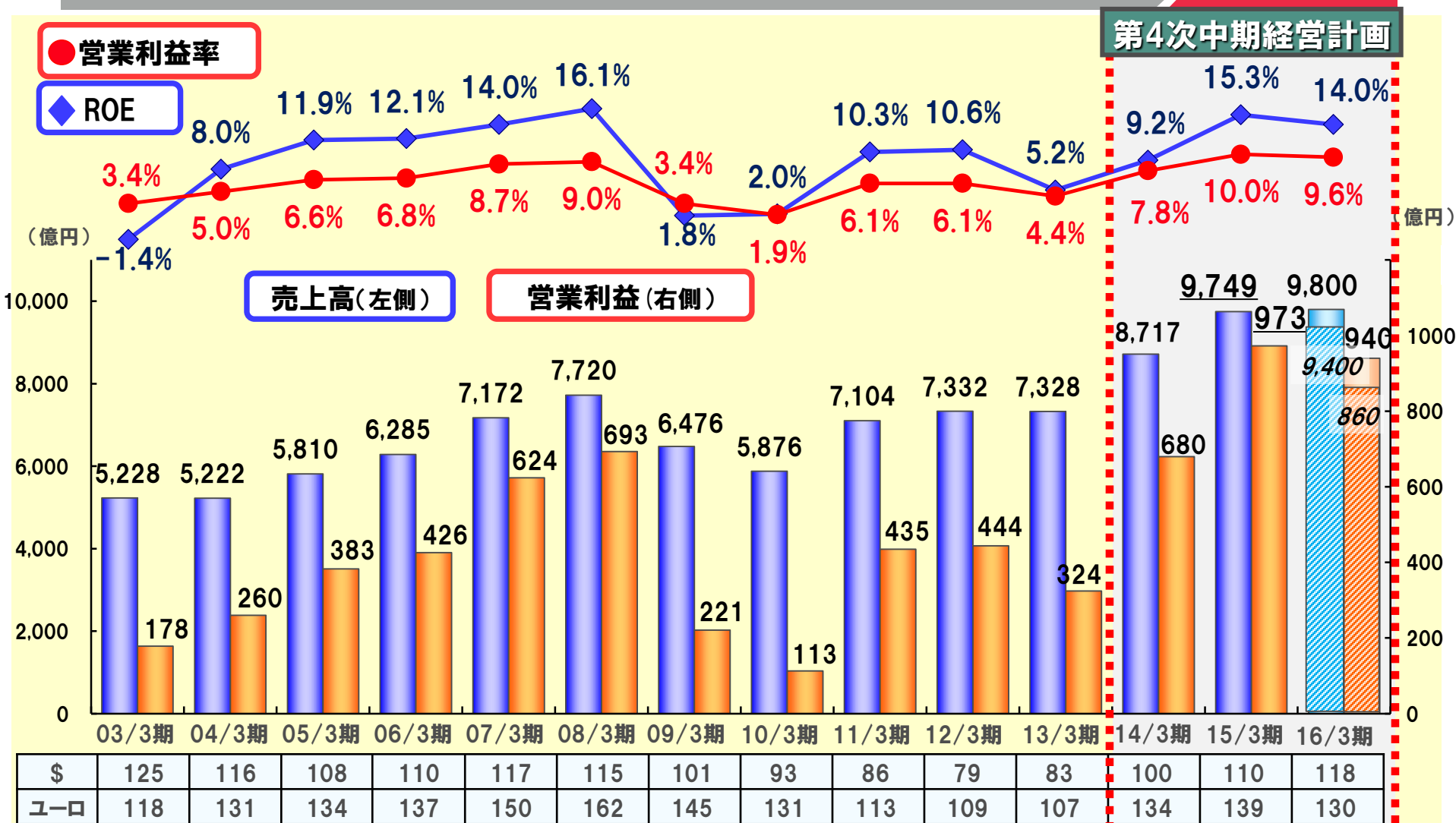
事業/地域
マネジメント

安全・品質・コンプライアンス

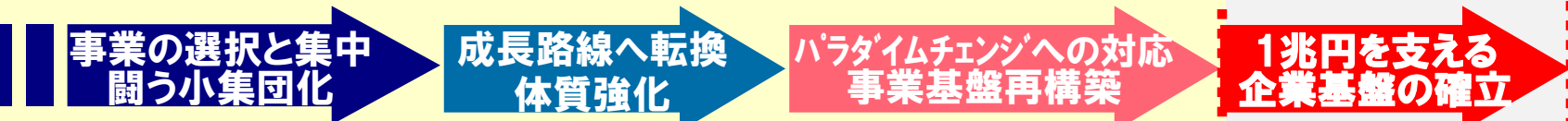
《第4次中期経営計画》 最終年度

	16年3月期 当初目標	16年3月期 修正予想
売上高	9,400億円	9,800億円
営業利益	860億円	940億円
経常利益	800億円	920億円
当期純利益	520億円	660億円
営業利益率	9.1%	9.6%
ROE	13.0%	14.0%
Net D/E レシオ	0.4倍	0.2倍
為替レート	US\$ = 90円 ユーロ = 120円	US\$ = 118円 ユーロ = 130円

連結業績の推移



第4次中期経営計画



【セクター別需要動向】

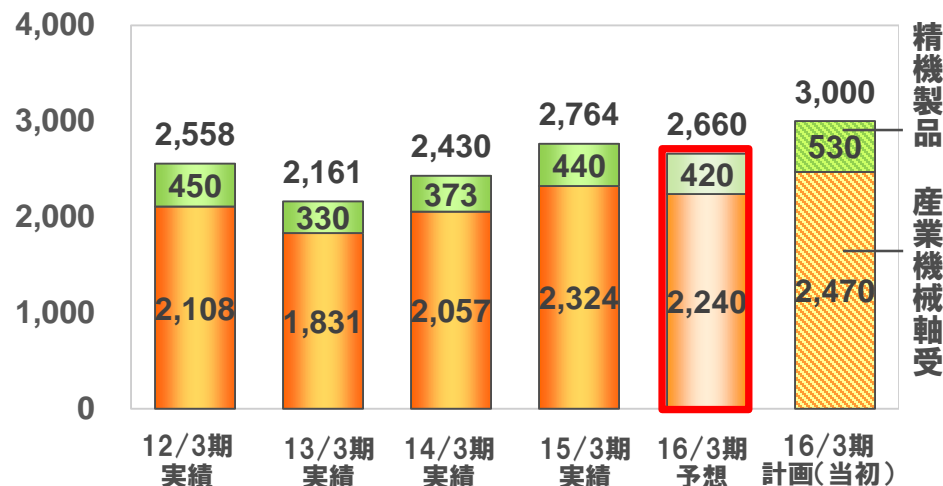
※期初見通しからの変更: △ 上向き、一横ばい、▼ 下向き

セクター	期初 (対前期)	直近 (前半 対 後半)		
	全体	全体	日本	海外
電機/情報	—	▼▼	▼	▼▼
鉄鋼	—	—	—	—
流体	—	▼	—	▼
鉱山/建機	▼	▼▼	▼	▼▼
農機	▼▼▼	—	—	—
風車	△	△	—	△
鉄道車両	△	—	▼▼	△
工作機械	—	▼▼▼	▼▼▼	▼▼▼
射出	△△△	▼▼	▼	▼▼
半導体/液晶	△	▼▼▼	▼▼▼	▼▼▼
AM	△	▼	▼	▼

- 工作機械、半導体など下方修正分野増加
- 海外の風車、車両 堅調

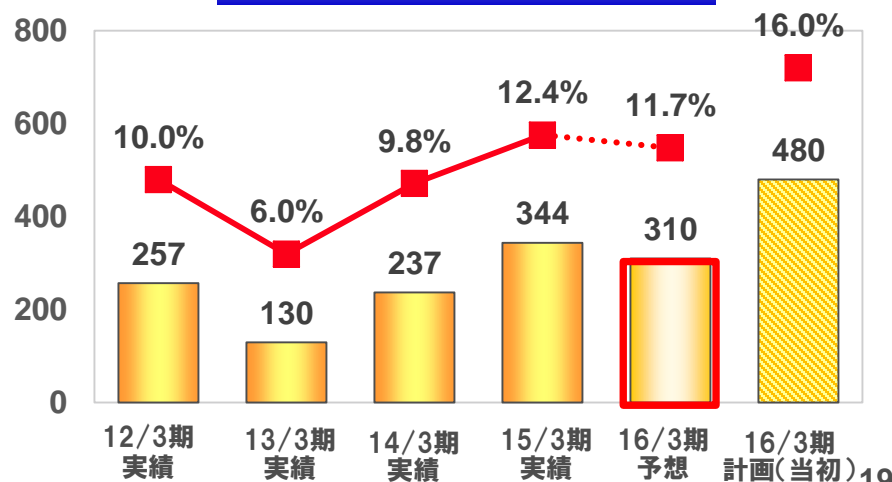
(億円)

売上高



(億円)

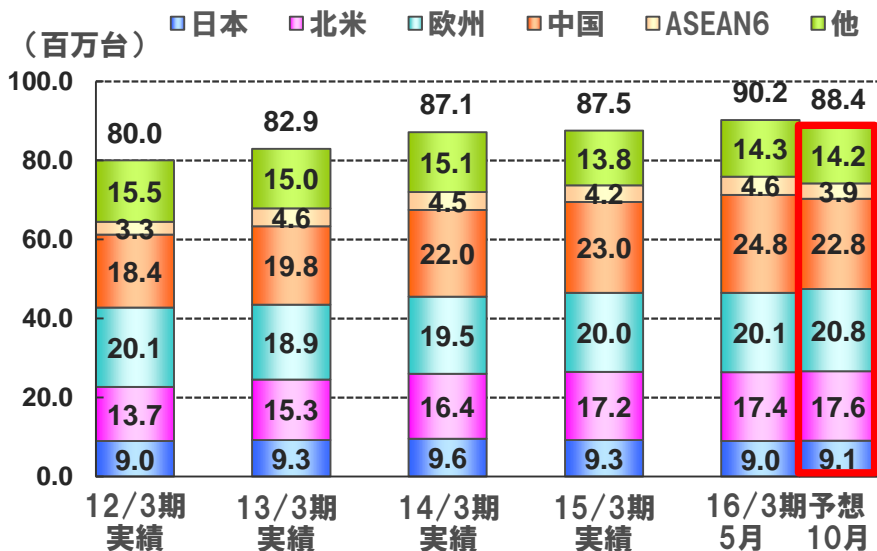
営業利益/営業利益率



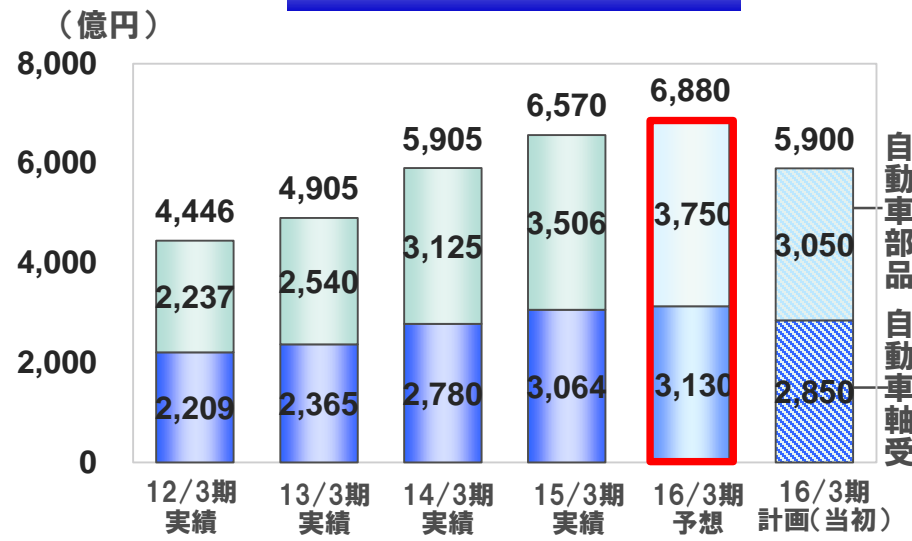
自動車事業 生産台数予想と業績見通し



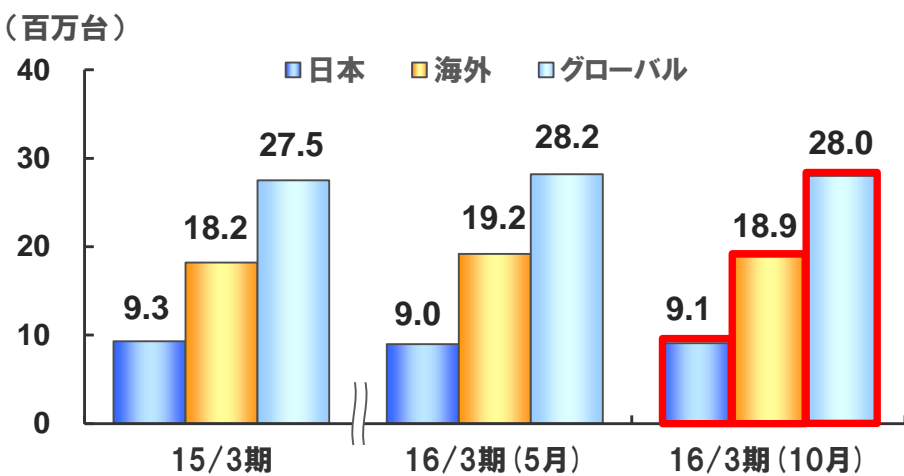
【グローバル自動車生産台数】



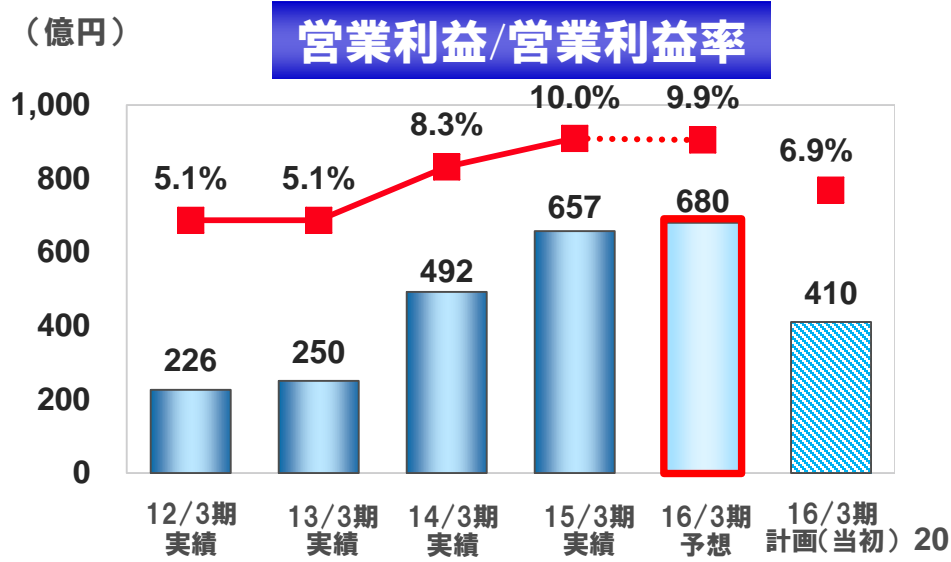
売上高



【日系自動車メーカー 生産台数】



営業利益/営業利益率



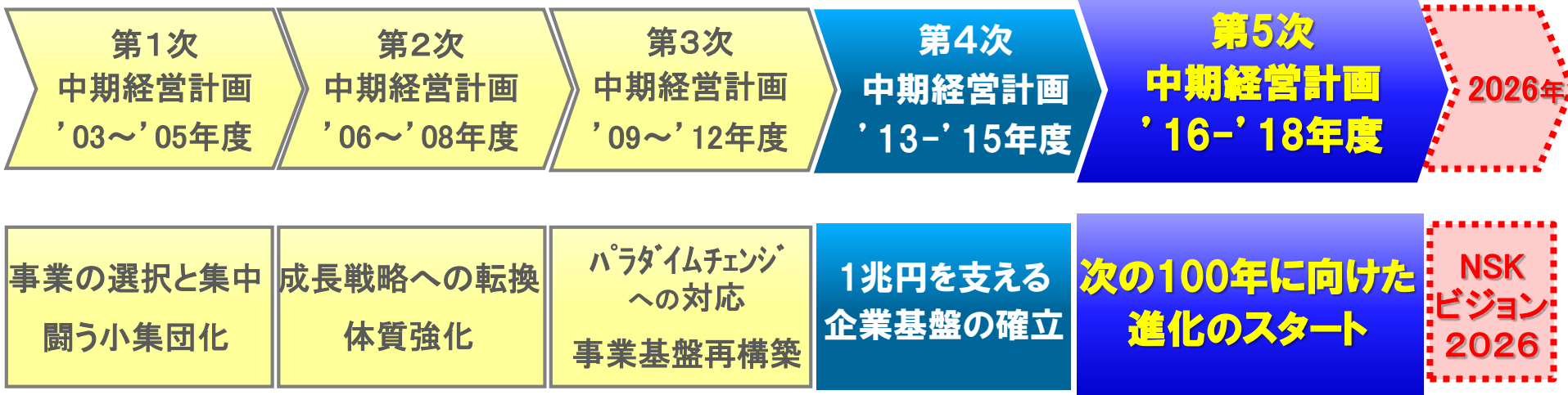
自動車部品
自動車軸受

4. 第5次中期経営計画 方針

第5次（'16～'18年度）中期経営計画の位置付け



2016年 創立100周年



第5次中期経営計画の位置付け・方針

- 創立100周年に当たる中期経営計画
- 持続的成長を実現する長期視点での戦略・施策の開始
- 基盤強化の継続・新たな成長力の創出



あたらしい動きをつくる。

あらたなライフスタイルを生み出し、笑顔あふれる明日を実現するための、
次の「動き」をつくる。

社会のニーズをいち早く発掘し、世界中の期待を超える、
誰も想像できなかった「動き」をカタチにする。

私たちが未来を動かしていく。

NSKビジョン2026 あたらしい動きをつくる

次の100年に向けた進化のスタート

オペレーショナル・
エクセレンス

競争力の不断の追求

持続的成長

社会への価値創造
ステーク・ホルダーとの協働

収益岩盤の構築

収益力の強化・定着
モノづくり・品質・人材

新成長領域確立

中核分野での成長
新製品・新領域

イノベーション
& チャレンジ

あたらしい価値の創造

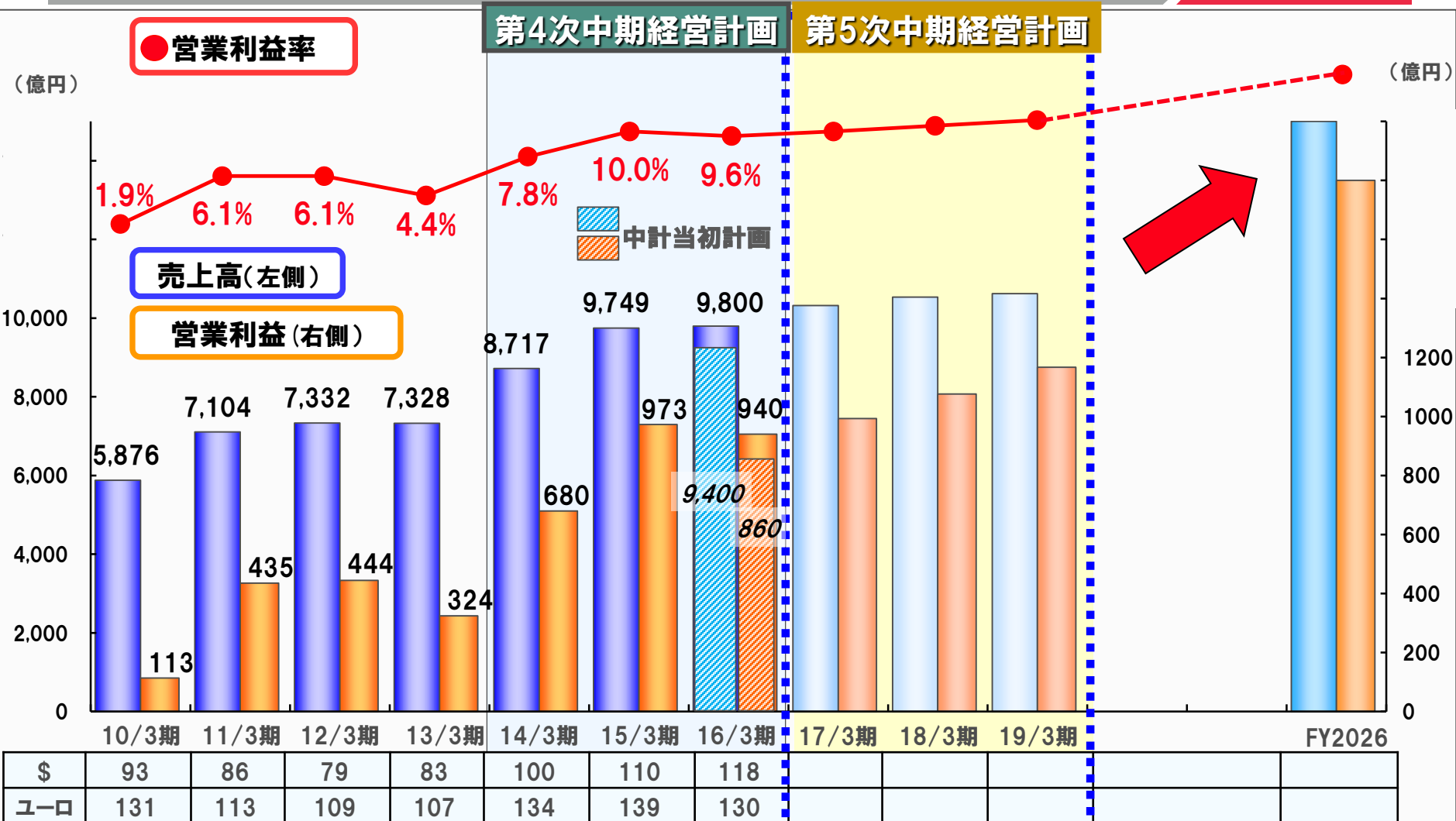
3本柱の事業体制

産業機械 ・ 自動車軸受 ・ 自動車部品

1兆円企業としての事業基盤

安全・品質・コンプライアンス

第5次中期経営計画 & 長期 売上・利益目標



パラダイムチェンジへの対応
事業基盤再構築

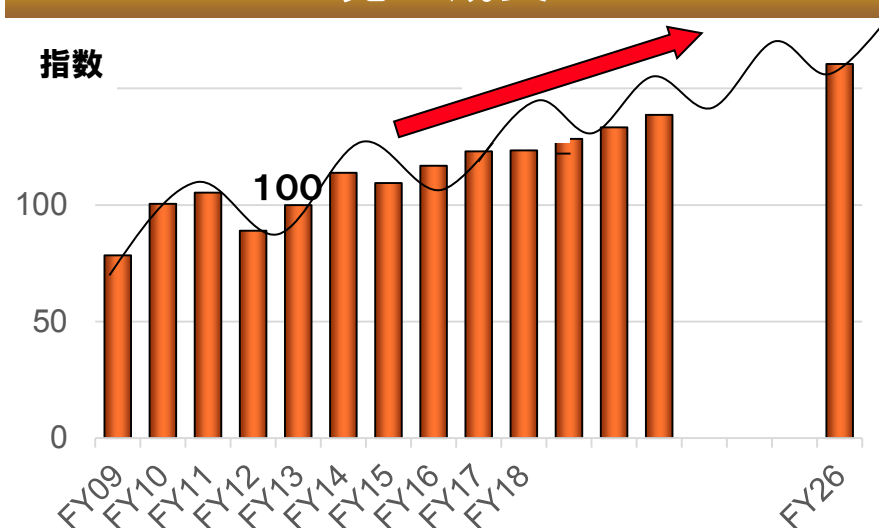
1兆円を支える
企業基盤の確立

次の100年に向けた
進化のスタート

事業環境

- GDP成長率 (Global)
2016-2018 平均3.8%/年
- 先進国経済
－ 技術の高度化加速
- 新興国経済
－ 成長鈍化、インフラ需要は継続
- 環境志向、サステナブル志向
の更なる進展

売上成長

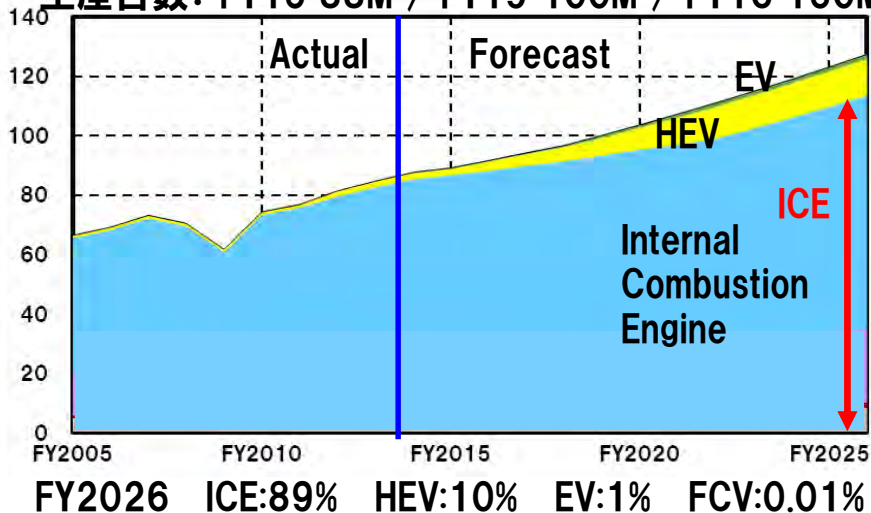


景気循環を超えた成長の実現

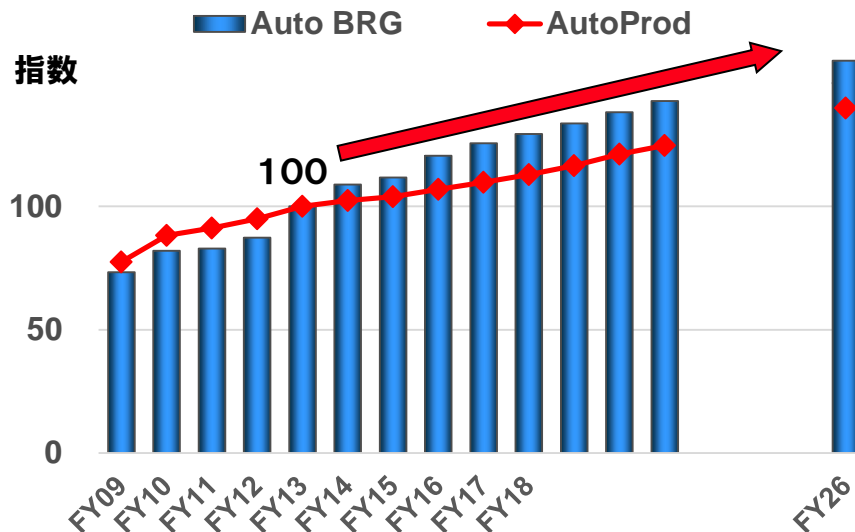
- 高度化技術分野への対応
 - ✓ 新領域強化 スマート化対応 (IoT・CMS・メンテナンス)、ロボット、医療
 - ✓ 電動化・工作機械 (軸受・精機製品のシナジー)
- 新興国市場、成長領域、環境分野での狙いを持った拡大
 - ✓ アジアのインフラ分野、省エネ・省資源
- 事業体質の強化
 - ✓ 重点品種 生産効率向上による能力拡充と需要変動対応力強化

動力タイプ別生産台数見通し

生産台数: FY15 88M / FY19 100M / FY16 130M



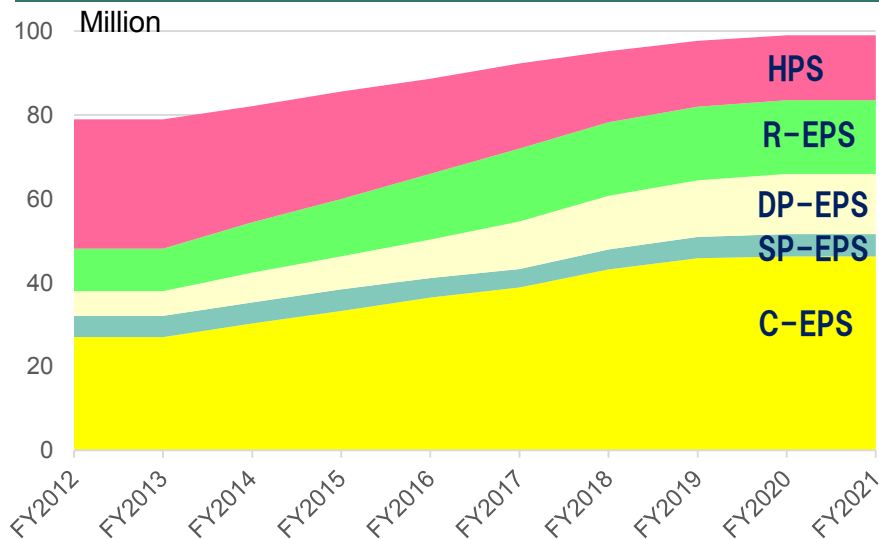
売上成長



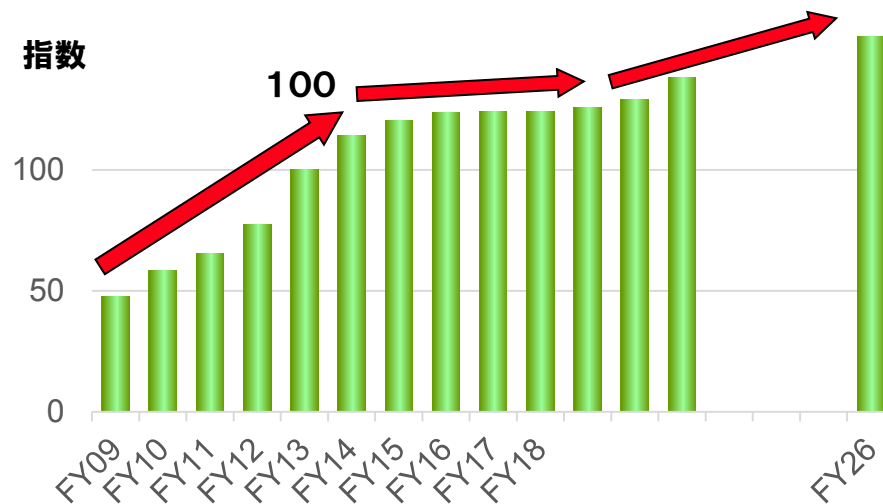
自動車社会の環境変化を捉えたチャンス の最大化

- 2020年代への変化に向けた対応力の充実
- 製品ポートフォリオの優先順位を明確にした拡大
 - ✓ ドライブトレイン部位での拡大
 - ✓ パワートレイン分野（電動化、効率化、苛酷環境対応）
 - ✓ 新製品・新領域
- 基盤の充実・強化（顧客ベース、生産基盤、営業力）

EPSタイプ別需要見通し



売上成長



次の成長への戦略実行

- コラムの強みを活かしたコラムEPSおよびマニュアルコラムの拡大
 - ✓ コア客先の小型車での拡大
 - ✓ 顧客ベースの拡大
- ラックタイプEPS 開発の加速
- 事業展開力のさらなる強化
 - ✓ プロジェクトマネジメント、調達戦略
 - ✓ 新たな戦略生産拠点

(補足資料)

(補足資料) 2016年3月期 通期予想 [法人所在地別]



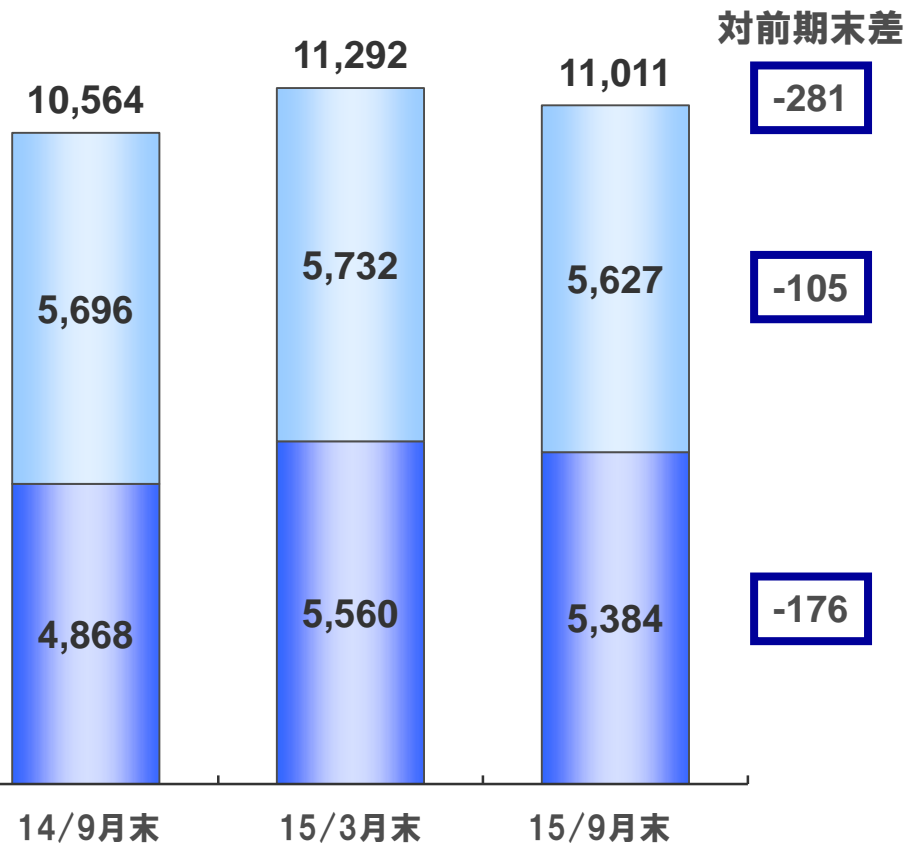
(億円)	15/3期	16/3期				
	通期 <実績>	前半 <実績>	後半 <修正予想>	通期 <修正予想>	対前期 増減額	対前期 伸び率
売上高	9,749	4,897	4,903	9,800	+51	+0.5%
日本	5,227	2,483	2,452	4,935	-292	-5.6%
米州	1,567	891	874	1,765	+198	+12.6%
欧州	1,388	657	663	1,320	-68	-4.9%
アジア	3,539	1,840	1,845	3,685	+146	+4.1%
消去	-1,974	-974	-931	-1,905	+69	-
営業利益	973 <10.0%>	494 <10.1%>	446 <9.1%>	940 <9.6%>	-33	-3.4%
日本	410 <7.8%>	192 <7.7%>	133 <5.4%>	325 <6.6%>	-85	-20.7%
米州	105 <6.7%>	69 <7.8%>	66 <7.6%>	135 <7.6%>	+30	+28.6%
欧州	113 <8.2%>	36 <5.5%>	54 <8.1%>	90 <6.8%>	-23	-20.3%
アジア	442 <12.5%>	234 <12.7%>	241 <13.1%>	475 <12.9%>	+33	+7.5%
消去/全社費用	-97	-37	-48	-85	-	-

(補足資料) 貸借対照表

資産

(億円)

■ 固定資産 ■ 流動資産



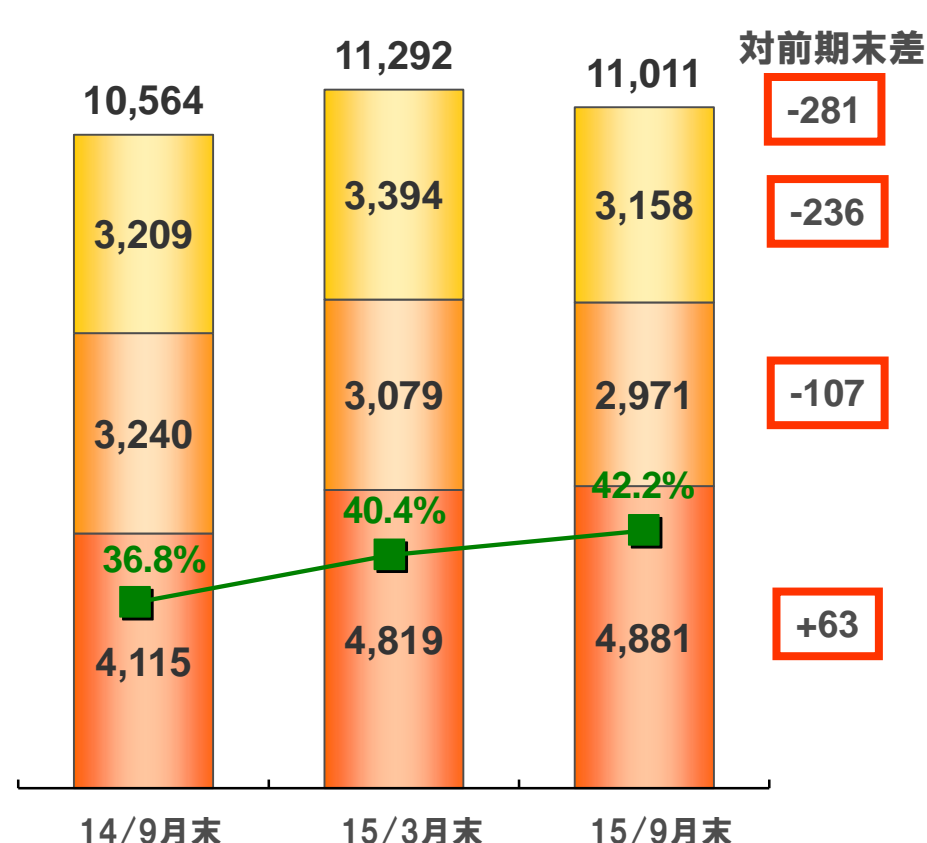
109.45	120.17	119.96
138.87	130.32	134.97

換算レート: 上段 US\$ 下段 Euro

負債/純資産

(億円)

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債 ■ 自己資本比率



109.45	120.17	119.96
138.87	130.32	134.97

換算レート: 上段 US\$ 下段 Euro

(補足資料) 設備投資/減価償却費/研究開発費

(億円)	15/3期 <実績>	16/3期前半 <実績>	16/3期 <計画>
設備投資(※)	469	199	510

※無形固定資産を除く

(億円)	15/3期 <実績>	16/3期前半 <実績>	16/3期 <計画>
償却費(※)	353	191	380

※無形固定資産を除く

(億円)	15/3期 <実績>	16/3期前半 <実績>	16/3期 <計画>
研究開発費	107	55	110